

被災地を訪ねて

～子どもたちの心に刻まれた被災地の記憶～



南海トラフ巨大地震で大きな被害が想定される愛南町では、防災教育の推進に努めようと、8月5日～8日の日程で、町内小学校の児童5人を東日本大震災の被災地へ派遣しました。

12月15日に御荘文化センターで開催された「愛南町防災フォーラム」での発表をもとに、子どもたちの視察研修の様子を紹介します。

東日本大震災発生から1000日以上の月日が経ちましたが、時間の経過によって記憶を風化させてはなりません。子どもたちの経験を糧として、今一度、震災を我がこととして考え、危機感を新たにすべきではないでしょうか。



閑上小学校の体育館は津波の被害を受け、ひどく傷んでいました。その体育館には、がれきの中から見つかったランドセルなどが置かれていました。

津波被害の恐ろしさが伝わってきます。



派遣児童が訪れた宮城県名取市の閑上中学校の時は、地震が起きた午後2時46分を指したまま止まっていました。



岩手県宮古市田老地区に残る震災遺構「たろう観光ホテル」です。海岸から数百メートル離れたこのホテルにも大津波がやってきました。濁流はホテルの4階まで押し寄せました。



家串小学校6年
宮下 魁伸くん

僕たち5人は、8月5日から8日まで、愛媛大学の森伸一郎先生や東海小学校の中田非斗志校長先生たちと一緒に東北を訪ね研修してきました。

7月に3回開かれた事前研修会では、3月11日の大地震・大津波のことや、現在の東北の様子について学びました。そして、東北へ行ってどんなことを勉強したいか、学校の友達や先生とも話し合いました。

今、被災地がどんな状況なのかを知りたい、東北の人たちがどんな思いで生活されているのか聞きたい、という気持ちでいっぱいになりました。

住宅地だった場所に、今は何もありません。



柏小学校6年
小島 壮太くん

1日目の研修で、僕の心に一番残ったことは、「閉上の記憶」のガイドさんのお話です。地震が起きてから津波が来るまでのこと、津波に流されてからは、屋根の上で26時間過ごしたことなど、詳しく聞くことができたからです。

その中で、ずっとお腹がすかなくなかったこと、まったく眠くなかったことなどを話してくださいました。びっくりしたし、そのくらい怖かったんだな、と思いました。



ガイドさんの話真剣に聞き入る子どもたち



中浦小学校5年
清水ことねさん

2日目の研修で、私が一番心に残ったことは、鉾ヶ崎小学校の古玉忠昭校長先生のお話です。

地震が起きたとき、子どもや先生が学校でどんな行動をとったのか、分かりやすく詳しく教えていただきました。

上履きで避難するのではなく、地震のときはちゃんと靴をはいて逃げるんだ、とおっしゃっていました。私たちも、地震のときはそういう行動をとりたいです。



古玉先生から震災での教訓を学ぶ子どもたち



東海小学校6年
山崎莉楓くん

3日目の研修で、僕が一番心に残ったことは、鉾ヶ崎小学校の子どもたちと交流したことです。

7人の児童会の皆さんと一緒に、3月11日と全く同じ避難体験をしました。鉾ヶ崎小学校の皆さんは、自分でちゃんと判断して逃げていました。僕は今まで、先生の指示に頼って避難していたので、これからはちゃんと自分で判断できるようにしたいです。



鉾ヶ崎小学校の児童と共に3月11日の追体験を行いました。上履きでの避難は難しいため、丈夫な靴で避難することなどを学びました。



福浦小学校6年
菅原莉音くん

東北視察研修が終わって、僕はみんなに伝えたいことがあります。報告会を2回に分けて行いました。

その中で、地区の避難路に誘導灯を設置すること、学校の上履きを、野外に避難しやすいものに替えることを提案しました。どちらも今回の研修で学んだことです。友達も地域の方々も真剣に聞いてくれました。友視察研修で、見て、聞いて、考えたことを、しっかりと伝えることで、みんなの防災意識が高まり、「自分の命は自分で守る」ことができるようになることもうれしいです。



住宅が壊れたままの生活をお話しました。



被災者の様子を学ぶために、漁協の古宮子も被災した子どもたち



閉上中学校の慰霊碑に触れる子どもたち



日に日に成長していった5人



閉上中学校の慰霊碑の横には亡くなった14人の生徒の机が置かれています。ご家族の方からでしょうか。切ないメッセージが残されています。

大震災を経験したことの無い人にとって、その凄惨さは実際にはなかなか伝わらないことかもしれません。今回の視察研修で、子どもたちは何を感じ、自分たちの住む町の人々に何を伝えてくれるでしょうか。子どもたちには、語り部としての期待がかかりますが、被災地を見た子どもたちの貴重な経験を今後どう活かすかは、私たち一人一人の意識の持ち方にかかっているのではないのでしょうか。